

2010年度 京都大学 前期 地理



- (1) ア：環太平洋 イ：堆積 ウ：洪積
 エ：沖積 オ：自然堤防 カ：侵食
 キ：ケスタ

(2) フィリピン海プレート・北アメリカプレート

(3) 緩やかに傾斜した硬軟互層の堆積地が差別侵食を受け、数列の丘陵が形成される。各丘陵の一方は急斜面、他方は緩斜面をなす。(58字)

(4) とともに石灰岩地帯の雨水による溶食地形である。Pは石灰岩が露出するカレンフェルトで、ドリーネもみられる。Qは著しい溶食により塔状の山が連なるタワーカルストである。(80字)



(1) A：ドナウ川 B：アマゾン川 C：長江

(2) あ：ベオグラード う：マナオス お：ウーハン

(3) あ・い

(4) 集約的稲作中心の、二毛作地帯である。(18字)

(5) 過剰な焼畑や放牧地の拡大によって、熱帯林の破壊が進んでいる。(30字)

(6) 治水や発電を目的として、サンシャダムが建設されている。ダム建設に伴って、流域の生態系破壊や遺跡の水没、多くの人々が移住を強いられるなどの問題が生じている。(77字)

(7) X： ルーマニア語・ ラテン語派 Y： ドイツ語・ ゲルマン語派



- (1) **A群** **B群**
 () (b) (エ)
 () (d) (ア)
 () (c) (ウ)
 () (a) (イ)

(2) : 福岡 : 那覇

(3) 長距離の2地点間では短時間で運べる航空が有利だが、短距離はトラックが有利である。(40字)

(4) 首都圏を抱える成田・羽田をハブとし、遠距離の広域中心都市までが幹線となっている。(40字)

(5) 東京への直行便を持つ福岡・長崎・鹿児島・那覇の各空港は、周辺の離島とを結ぶローカル路線の拠点空港として中継地機能を持つ。(60字)



(1) 前者は後者に国外からの所得を加えたもの。(20字)

(2) : d : b

(3) い : アメリカ合衆国 ろ : 日本
 は : 中国 に : イギリス
 ほ : ロシア

(4) X : 16% Y : 75%

(5) 1人あたり国民総所得が上昇すると、産業別就業者比率は第1次が低下し、第2次は上昇した後停滞・または低下し、第3次は一貫して上昇する。(66字)

(6) ごく少数の富裕層と大多数の貧困層、および大都市と農村部における所得格差が大きい。(40字)

(7) 家計支出に占める飲食費の割合が高く、子供に高等教育を受けさせることが困難となる。(40字)

(8) 1970年代の石油危機を契機に、所得水準がやや向上した産油国や、経済成長の著しい新興工業諸国と、安価な一次産品に依存する後発発展途上国との経済格差が拡大している。(79字)